

駆除セット 無償配布

三重・JA伊勢 生産者に捕獲器と餌

ジャンボタニシ対策

【三重・伊勢】JA伊勢は3月中旬から4月8日までの期間に、スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)防除のため、管内で水稻を栽培する生産者を対象に、捕獲器と餌の1000セットを無償で配布した。薬剤防除と併せて行うことで、効果的な対策につなげていく。捕獲器はJA共済の支援で導入した。



生産者にジャンボタニシ捕獲器を配布する同JA職員

田植え前後に捕獲器を使うよう呼びかけた。同JA米穀・企画課の

澤山和人課長は「地域全体で捕獲器を活用してもらうことで、水稻苗の被害を減らし、少しでも生産者の所得向上につなげていきたい」と話していた。また、管内の一部小学校では、同JAと捕獲器を活用した授業を行う予定だ。

同JA管内では近年、水稻苗のジャンボタニシ被害が増えている。JA職員が現地研修会などを通じて、生産者に薬剤や石灰窒素を使った対策を呼びかけてきた。しかし、被害の程度や範囲が急速に

拡大しており、早急に地域一丸での対策を講じる必要が出てきた。捕獲器は、餌を中に入れて用水路や水田に設置すると、ジャンボタニシが捕獲器の中に誘引される仕組み。餌を交換すれば、繰り返し

使用できる。生産者らには、餌として、ジャンボタニシの嗜好(しこう)性の高いドッグフードをセットにして配布する。同JAの生産資材店舗6店舗での配布したときには、生産者らに